

東コミ福祉包括ケアシステム 実行委員会だより

3号

発行日／2025. 1. 23

発行：東コミュニティ運営協議会 電話：504－1430

第3回福祉包括ケアシステム実行委員会（R7. 1. 23）

第3回の委員会を開催しました。

第1回と第2回の振り返りを行い、活動されている福祉部や民生員からの意見などを再確認しながら会議を進めました。

福祉活動に従事されている皆さんの負担を少しでも解消していく努力を行いながら、見守り活動を広げていく為にはどうしたらいいのかを委員の皆さんと話し合いました。

【 委員から提案された課題 】

- ① 移動販売車を活用した高齢者の生活ケアシステムの支援
- ② 誰でも出来る見守り活動（防災の要支援者も含む）
- ③ SOSネットの訓練（アップデートしたもの）

提案課題の内容

① 移動販売車を活用した高齢者の生活ケアシステムの支援

高齢者の買い物支援のために地域拠点まで生活物資を運搬して販売する。
東包括支援センターからの提案で、今後成果や持続性などを検証していく。

② 誰でも出来る見守り活動（防災の要支援者も含む）

誰でも出来る見守り活動を目標に、防災で作成したリスクマップを活用して、声掛けを希望されている方を対象とした声掛けマップを作成し、地域の皆さんが見守りに参加できる体制の構築を図る。
今回は、乙金区をモデル地区にお願いして、マップ作製をお願いしながら地域へ

の理解を図る。この活動について、検証を行いより良いものを構築していく。

③ SOSネットの訓練（アップデートしたもの）

第1次まちづくり計画で構築した SOS ネットの訓練をしたらどうかとの提案があった。このことについては、7年度に実施することで計画を進める。その際、2次の計画にあるアップデートをしたもので搜索訓練を行う。

以上の件について、事務局及び関係機関と事前に協議を行い委員会に提案したい。

第2次まちづくり計画 Plan2～福祉～

Plan 2 ～福祉～

高齢者など支えが必要な人に寄り添う“支え合い”のまちづくり

- ▼東コミに暮らす一人一人の個性を互いに認め合いながら、地域の中で困っている人や支えを求める人の存在に気づき、その上で「自分にできることをする」「地域や相談機関につなぐ」といった行動をとれる人が増えていくように、地域における「見守り」の輪を広げていきます。
- ▼高齢化社会の中で全国的に整備が進められている「地域包括ケアシステム」の枠組みの中で、コミュニティに求められる役割を認識しながら、東コミならではの「支え合い」「助け合い」のしくみを検討していきます。
- ▼東コミで、これまでも続けられてきた「番茶の会」や「シニア部芸能大会」をはじめとした「交流型の事業」を通じて、生きがいづくりや健康増進の機会を作っていきます。
- ▼ボランティア運転手の皆さんの協力や、企業・事業所の方々の寄付等によって運行されている、高齢者移動支援バス「おげんき号」は、年々乗車人数も増えています。今後も市の公共交通のあり方に合わせながら、通常運行以外の活用方法も含めて検討し、より使いやすいサービスとなるよう努めます。

実施する事業	取組の内容	具体的取組の例
(1)見守り・生きがいづくり事業	・認知症等による徘徊・行方不明者の搜索体制の検証 ・「新たな時代の見守り」の仕組み・ツールの運用 ・交流型事業による生きがいづくり ・健康増進の推進 ・「元気な高齢者」の活躍の場の創出	・認知症 SOS ネットの見直し(アップデート) ・誰でもできる見守り活動 ・高齢者を中心とした、交流や健康増進イベントの検討 ・高齢者による見守り活動や、子ども向けの社会教育活動 ・福祉や共生をテーマとした講演会等の開催
(2)福祉に関する啓発事業	・福祉や共生をテーマとし、見守りの輪や支え合い・助け合いの輪を拡げていくための啓発活動 ・各種相談窓口等に関する情報提供	・コミュニティ通信やホームページ・SNS(LINE 等)による情報提供、各種相談窓口の情報周知
(3)高齢者移動支援事業	・高齢者移動支援バス「おげんき号」の運行と、新たな活用方法の検討	・「おげんき号」の運行や試乗会実施など

